

第3次二宮町環境基本計画策定のための町民アンケート調査結果（概要版）

1. 調査の目的

令和5年3月策定予定の第3次二宮町環境基本計画の策定にあたって、町民の環境等に係る現状に対する満足度や将来の意向等を聴取し、計画の方向性を検討する上での参考とすることを目的としてアンケート調査を実施しました。

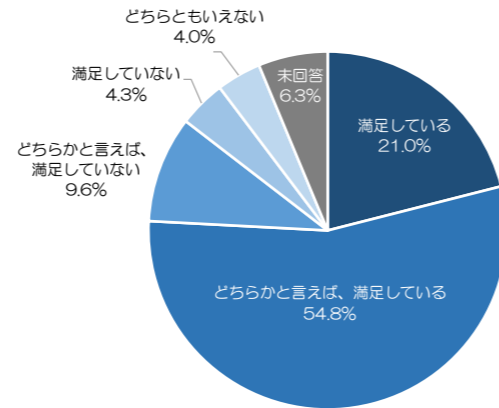
2. 調査対象・方法

調査対象	二宮町在住の18歳以上の男女
調査期間	令和3年8月16日～8月31日
調査方法	郵送配布・郵送回収
抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出
配付数	1,000票
回収数	447票（44.7%）

3. 調査結果

(1) 周辺環境への満足度

- 現在の周辺環境への満足度は、「満足している」が21.0%、「どちらかと言えば、満足している」が54.8%であり、8割近くの回答者が満足しています。
- 一方、「どちらかと言えば、満足していない」「満足していない」とあまり満足していない回答者は合計で13.9%となっています。



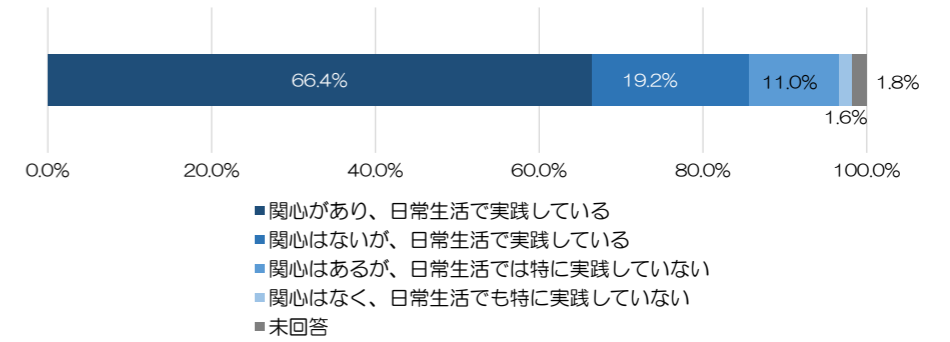
(2) 二宮町の環境を良くするために重要と思われる項目

- 重要度が高い環境項目（「重要」、「やや重要」の割合を合計した値）を見ると、「台風・大雨・高波などの風水害の危険性のなさ」、「台風・大雨・高波などの風水害の危険性のなさ」が92.8%と最も重要という回答が多くなっています。
- 次いで、「川や水路等における水のきれいさ」を重要とする回答が多くなっています。自由意見では葛川の保全に対する意見も多く、町民の関心が強い項目となっています。

順位	項目	重要度	重要度		H23の順位
			重要	やや重要	
1	台風・大雨・高波などの風水害の危険性のなさ	92.8%	74.5%	18.3%	1
2	川や水路等における水のきれいさ	91.5%	64.4%	27.1%	(3)
3	人と車にやさしい交通環境	91.3%	62.2%	29.1%	(3)
4	海や海岸のきれいさ	90.6%	65.1%	25.5%	5
5	公共用地のきれいさ	88.8%	58.6%	30.2%	(7)
6	バス、鉄道等の公共交通機関の利用のしやすさ	87.1%	57.3%	29.8%	12
7	空気のきれいさ	87.6%	65.8%	21.7%	2
8	車に起因する公害のなさ	87.2%	56.2%	31.1%	10
9	緑の環境の豊かさ	86.8%	56.6%	30.2%	6
10	ごみの減量やリサイクル等への取り組み	86.5%	57.0%	29.5%	(7)
11	まちなみや自然の景観の良さ	83.4%	47.2%	36.2%	(7)
12	自然との親しみやすさ	82.7%	46.5%	36.2%	15
13	自転車の利用のしやすさ	82.1%	45.2%	36.9%	(13)
14	風通しの良さ	81.4%	52.6%	28.9%	11
15	工場等の事業所に起因する公害のなさ	81.0%	57.7%	23.5%	(7)
16	野鳥や昆虫等の生息する自然の豊かさ	81.0%	47.0%	34.0%	16
17	遠景の見晴らしの良さ	77.5%	39.1%	38.5%	18
18	高い建物等による日照障害のなさ	75.6%	46.3%	29.3%	(13)
19	環境情報の得やすさ	67.5%	31.5%	36.0%	19
20	環境に関する学習・交流機会の得やすさ	62.8%	24.6%	37.8%	20

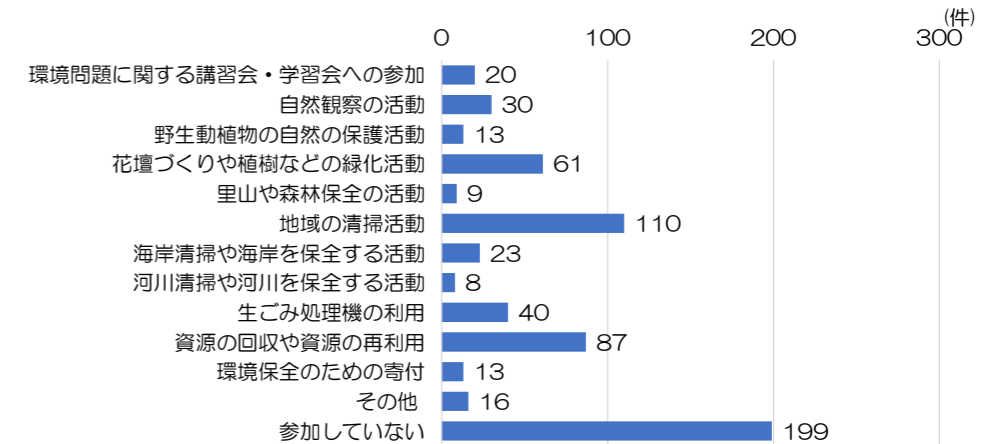
(3) ごみの減量や省エネルギーへの関心

- ごみの減量や省エネルギーへの関心は高く、実践している、実践していないを問わなければ77.4%が「関心がある」と回答しています。
- 関心がなくとも、ごみの減量や省エネルギーのための「行動をしている」という回答もあり、何らかの行動を実践している回答者は85.6%となっています。
- 関心もなく実践もしていない人は1.6%となっています。
- これらのことから、ごみ減量、省エネルギー行動は概ね定着していることが伺えます。



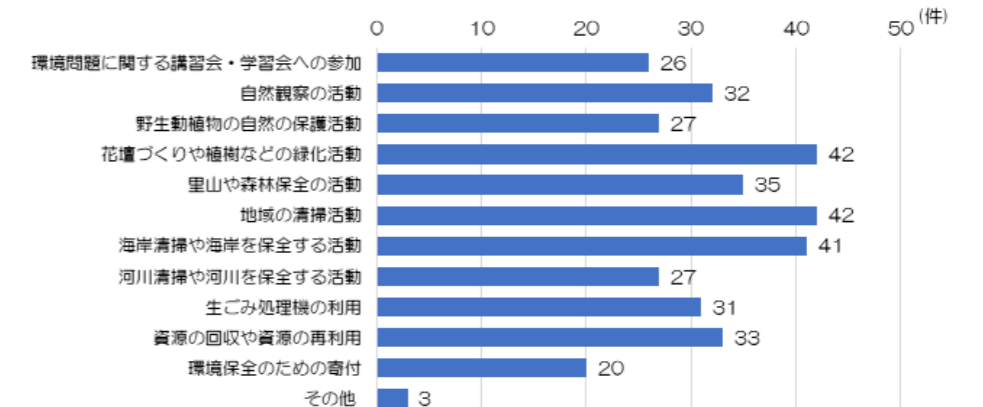
(4) あなたが現在行っている環境活動について

- 環境活動については「参加していない」が199件（約32%）と最も多くなっています。
- 活動を実践している回答者については、最も多いのが「地域の清掃活動」、次いで「資源の回収や再利用」、「緑化活動」となっている。
- 自由意見では「地域住民で道路の雑草を刈っている」、「海岸に流れ着いたごみを拾っている」という回答などが見られました。



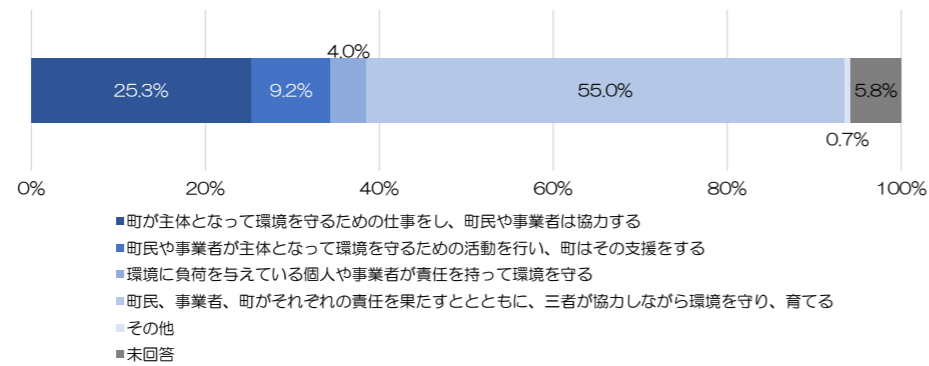
(5) 今後実践してみたい環境づくり

- 今後の環境づくりの意向について、「地域の清掃活動」、「花壇づくりや植樹などの緑化活動」がともに42件と最も多くなっています。
- 次いで「海岸清掃や海岸を保全する活動」、「里山や森林保全の活動」となっています。



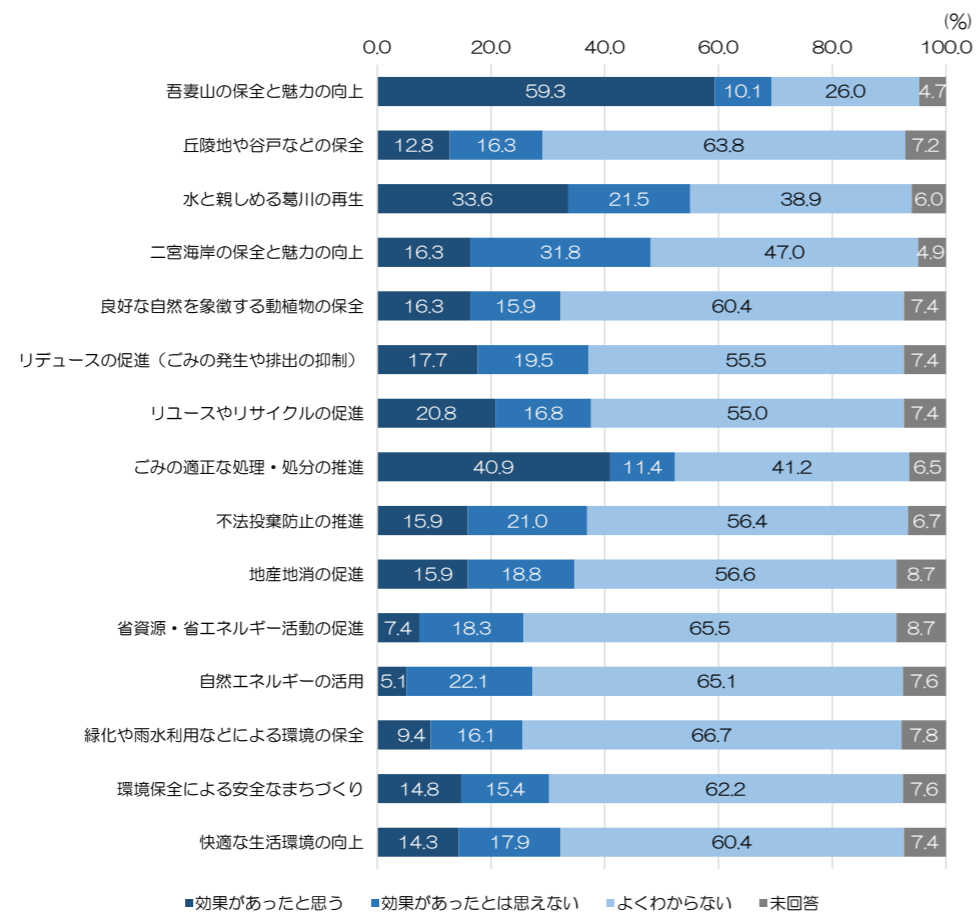
(6) 環境を守るための役割分担のあり方

- 環境を守るための役割分担のあり方については、「町民、事業者、町がそれぞれの責任を果たすとともに、三者が協力しながら環境を守り、育てる」の回答（いわゆる三者協働）が55.0%と最も多くなっています。
- 次いで、「町が主体となり、町民や事業者は協力する」の回答（いわゆる行政主導）が25.3%と多くなっています。



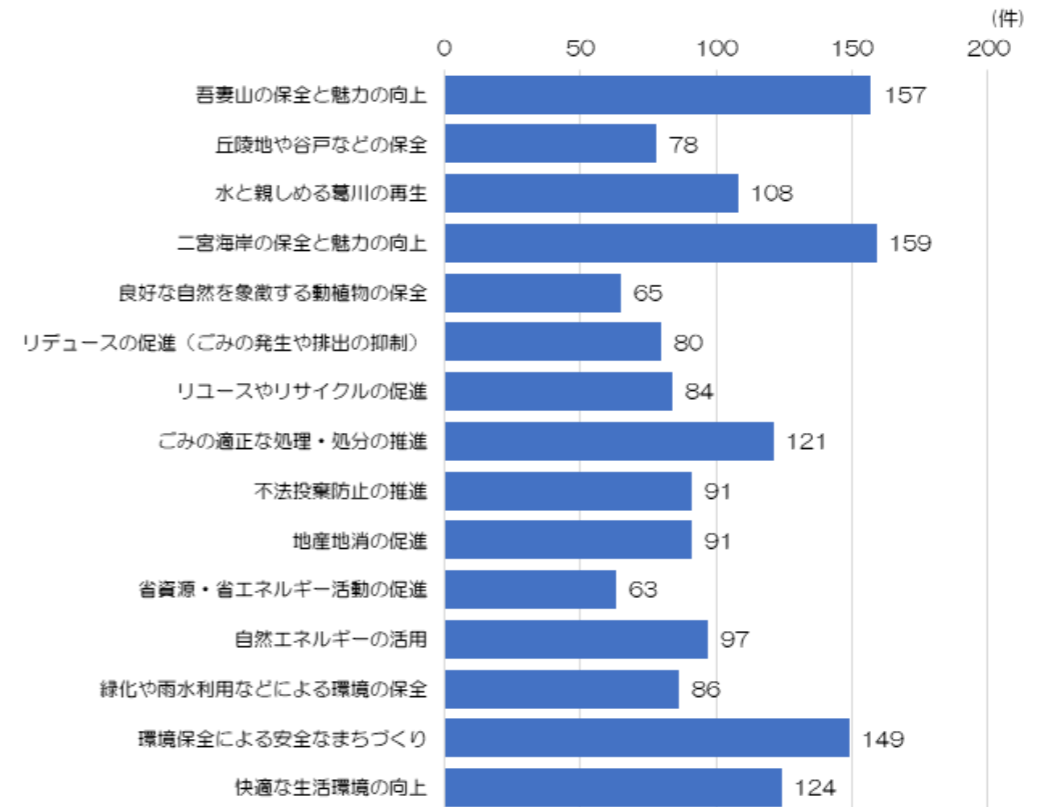
(7) これまでに実施した取り組み（第2次二宮町環境基本計画）に対する効果

- 効果があったと思う取り組みは、吾妻山の保全について59.3%の回答者が「効果があった」と回答しています。
- 次いでごみ処理・処分の推進（40.9%）、葛川の再生（33.6%）について「効果があった」という回答が多くなっています。
- 効果がなかったと思う取り組みは、二宮海岸の保全について31.8%の回答者が「効果があったとは思えない」と回答しています。
- 次いで、自然エネルギーの活用（22.1%）、葛川の再生（21.5%）が「効果があったとは思えない」という回答が多くなっています。
- 全体として「よくわからない」の回答も多く、特に省資源・省エネルギーや自然エネルギーの活用、緑化や雨水利用などによる環境の保全については、65%を超える回答者がわからないと回答しています。



(8) 今後重点的に取り組むべき項目

- 今後、重点的に取り組むべき項目については、「吾妻山」と「二宮海岸」の保全と魅力の向上と考える回答者が最も多くなっています。
- 次いで、「環境保全による安全なまちづくり」が多くなっています。



4. 調査結果のまとめ

- 町民の二宮町の環境に対する満足度は高い結果となりました。
- 町民の自然、景観や、公等等の生活環境等に対する満足度は高い結果となりました。
- 一方で、道路整備や交通の利便性については、不満や改善の意向が多くあることが伺え、環境政策とともに、まちづくり政策や交通政策の課題と併せ、町全体で対応するべき課題となっています。
- 今後の取り組みの重要度としては、満足度と概ね同様の項目が挙げられましたが、加えて自然災害対策等についての懸念が見られ重要度が高いと考えています。これは、近年の異常気象の頻発に伴う各地での自然災害の多発に加え、アンケート調査実施直前に熱海市での土砂災害がメディアに多く取り上げられていたことも要因となっていると示唆されます。
- 環境情報の入手や、環境保全行動への取り組みについては、町民の一部のみの行動に留まっていることが伺えました。さらに、今後の環境保全行動の実践については、関心はあるものの実際の行動が難しいと考えている町民が多い結果となっています。このことから、町民の環境問題への関心を実践に移すための仕組みづくりが課題です。
- ただし、ごみの分別や省エネ行動、地域の清掃活動、緑化活動、エコバッグ持参など身近な行動については、ある程度、町民生活の中で定着していることが伺え、継続的な取り組みの促進や、実践者の拡大が求められます。
- 環境保全の重要性については、町のシンボルでもある吾妻山や海の環境保全について、町民の関心が高いことが伺えました。
- 葛川については、その保全について関心を持つ町民も多く、環境改善や魅力向上への取り組みの意向があることが伺えます。